

2024年3月28日

2023年度「障害者スポーツ調査研究報告書」を発行

当財団は 2023 年度版「障害者スポーツを取巻く社会的環境に関する調査研究」の報告書を発行いたします。本報告書の内容は当財団ウェブサイトよりご覧いただけます。

<https://www.ymfs.jp/survey/2023-parasports-report/>



■報告書タイトル

「障害者スポーツを取巻く社会的環境に関する調査研究」

ー 競技団体の実態、大学の現状、ユニ★スポ体験の効果、選手のキャリアに着目して ー

■報告書の概要(全4章で構成)

【第1章】 障害者スポーツ競技団体の実態調査

パラリンピック競技団体:28 団体、パラリンピック競技以外の団体:36 団体、デフリンピック競技団体:14 団体の合計 78 団体を対象とした実態調査の結果を報告しています。

【第2章】 大学における障害者スポーツの現状に関する調査

全国の大学を対象に、障害のある競技者に対する支援や施設貸し出し、障害者スポーツ支援に関する意向等についての調査結果を報告しています。

【第3章】 ユニ★スポ体験での児童の意識変容調査

小中学校を対象に、ポッチャをユニバーサルなスポーツ教材として 5 年間(参加 4200 名)にわたり実施した体験事業の結果より、アダプテッド意識の変容について纏めています。

【第4章】 障害者スポーツ選手のキャリア調査

障害者スポーツ選手のスポーツを始めるに至った経緯や活動状況について、2023 年度実施の 26 名の報告、およびこれまでに実施した合計 76 名のインタビューから見えてきたキャリアパターンを掲載しています。

【執筆責任者コメント】 藤田紀昭 (日本福祉大学 スポーツ科学部 教授)

障害者スポーツ競技団体調査では非パラリンピック競技団体でスポンサーが増加していることなどが明らかになってきました。また新たにデフリンピック関連競技団体を対象とし、2025 年のデフリンピックに向けた動きも視野に入れました。大学における障害者スポーツの現状調査ではスポーツ推薦制度のある大学の 6 割以上が障害のある選手も制度の対象とし、そのうち 4 割以上の大学で障害のある選手の合格実績があることがわかりました。そして小学校で障害者スポーツについて学んだり、体験したりした子どもたちには長くポジティブな影響が残ることもわかってきました。さらに、障害者スポーツ選手のキャリア調査ではこれまで 5 年間のデータの蓄積により、選手のスポーツキャリアには 12 のパターンがあることが明らかになりました。今回の報告書も「注目点多数あり！」ぜひご一読いただき、忌憚のないご意見ご質問等お寄せいただければ幸いです。

この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。(担当:大庭)

www.ymfs.jp

公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団 (YMFS)

〒438-8501 静岡県静岡市新井 2500
TEL: 0538-32-9827 FAX: 0538-32-1112

Yamaha Motor Foundation for Sports (YMFS)

2500 Shingai, Iwata, Shizuoka, 438-8501 Japan
Tel: +81 538 32 9827 Fax: +81 538 32 1112